

2019年1月21日

“i Construction”と“BIM/CIM”への対応機能を強化！  
エクストレンドムサシ トレンドポイント  
『EX TREND 武蔵 Ver.19』と『TREND POINT Ver.6.1』  
2019年2月26日 同時リリース

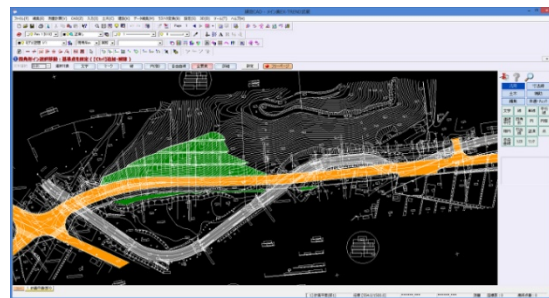
福井コンピュータ株式会社

建設業向けのトータルCADメーカー、福井コンピュータ株式会社(本社:福井県坂井市、代表取締役社長:杉田 直)は、“i-Construction”と“BIM/CIM”への対応機能を強化した土木施工管理システム「EX-TREND 武蔵 Ver.19」と、3D点群処理システム「TREND-POINT Ver.6.1」を、2019年2月26日(火)に同時リリースいたします。

#### ■ 「EX TREND 武蔵 Ver.19」の概要

昨今の i-Construction の普及により、ICT 活用工事に指定されていない中小規模の工事においても、率先して ICT の活用を試みる事例が急増しています。

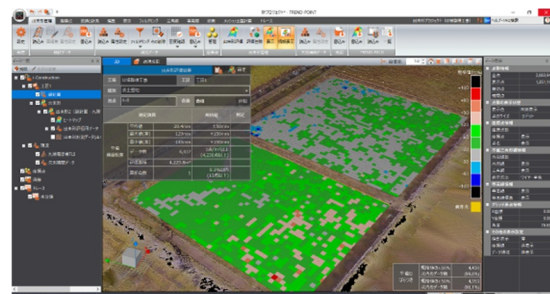
こういった現状から、土地造成など線形が存在しない計画でも 3D 設計データをスピーディーに作成できる機能や、従来積算に使用されている土工区分線の 3D 設計データを断面管理作業の延長上で作成できる機能など、i-Construction の次のステップを見据えた機能強化を図っております。



#### ■ 「TREND POINT Ver.6.1」の概要

農林水産省が発注する工事においても、情報通信技術 (ICT) の活用が始まっており、「農林水産省:情報化施工技術の活用ガイドライン(2018年7月公開)」に対応した出来形管理機能を搭載しました。

また、情報化施工技術活用工事に指定されていない工事においても、3D点群データを有効に活用できる新機能を搭載しております。



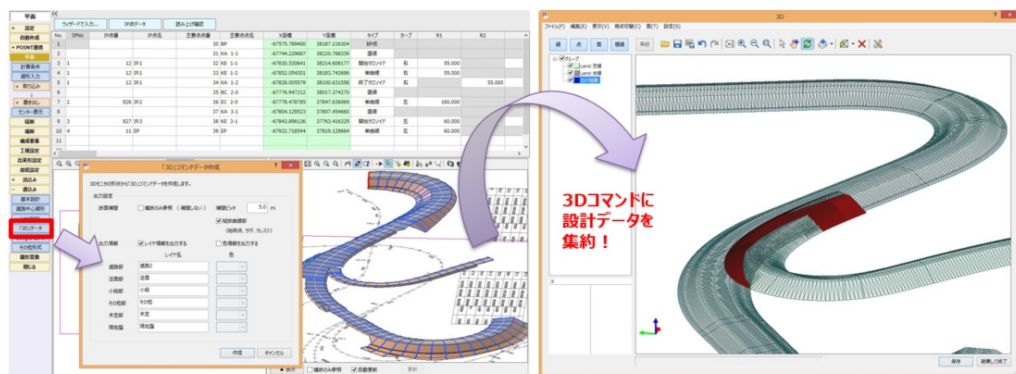
■ 「EX-TREND 武蔵 Ver.19」主な新機能

◆ 線形なし“3D 設計データ”を背景図面から簡単作成

- 線形のない土地造成のような平場と法面で構成された設計データの場合であれば、背景の 2D 図面から簡単に設計データを作成でき、大幅なスピードアップを実現します。

◆ 複数線形の合流部等、面同士の交差部分における取り合い編集を実現

- 面の汎用編集機能を追加し、これまで面倒だった複数線形の取り合いはもちろん、“線形あり”と“線形なし”の設計データの取り合いも編集が可能です。



◆ 土工区分線の“3D 設計データ”化に対応

- 従来の断面管理と 3D 面管理の両方を可能とし、BIM/CIM の一環である 3D 数量算出の次テーマ『内部情報管理』を見据えた新機能です。

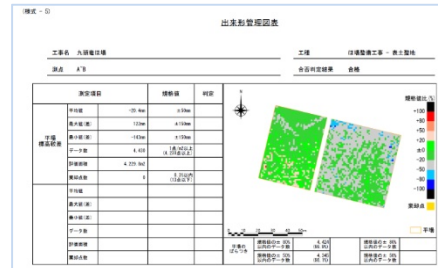
◆ 各電子納品要領への対応

- NEXCO：電子納品要領への対応
  - 工事記録写真等撮影要領 H29.7 / CAD による図面作成要領 土木編 H29.9 / 調査業務の電子納品要領 H27.7 (マイクロフィルム作成用の納品出力)
- 国土交通省：電子納品要領への対応
  - 測量成果電子納品要領 H30.3
- 国土交通省：港湾ガイドラインへの対応
  - 地方整備局 (港湾空港関係) の事業における電子納品等運用ガイドライン【資料編】H30.3 / 地方整備局 (港湾空港関係) の事業における電子納品運用ガイドライン【業務編】H30.3 / 地方整備局 (港湾空港関係) の事業における電子納品等運用ガイドライン【工事編】H30.3
- 国土交通省：営繕要領への対応
  - 営繕工事電子納品要領 H30 / 建築設計業務等電子納品要領 H30
- 整備局および自治体関連の対応
  - 北海道開発局 H30.6 / 北海道 H30.4 / 青森県 H30.4 / 千葉県農林 H30.4 / 千葉県 H30.4 / 新潟県 H30.4 / 石川県 H30.4

■ 「TREND-POINT Ver6.1」主な新機能

◆ 農林水産省版 出来形管理への対応

- 「農林水産省：情報化施工技術の活用ガイドライン H30.7」に対応します。
- 工種は「共通工事」と「ほ場整備工事」の2工種です。  
：ほ場整備・・・既成の水田や畑を、よりよい基盤条件をもつ農地に整備する一連の土地改良のこと



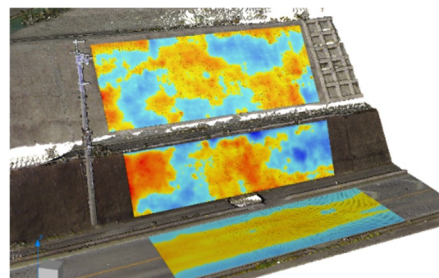
◆ 不陸計測機能を強化した「ほ場均平度計測」

- 点群から算出した平均標高値（基準面）からの離れをヒートマップで表現し、統計値（測点数、最大値、最小値、±5cm および±10cm 以内の測点数）により均平精度を評価します。



◆ 不陸計測機能を強化した「凹凸計測」

- 維持管理分野で用いられている凹凸計測技術を点群でも同様な理論で計測が可能です。点群の状況から基準面を推定するため、比較対象となる面データが不要となります。ほ場と異なり、法面や擁壁など水平ではない斜面の凹凸状態も把握が可能となります。



活用例：道路点検前のスクリーニング

■ 発売日

- EX-TREND 武蔵 Ver.19 2019年2月26日（火）
- TREND-POINT Ver.6.1 2019年2月26日（火）

■ 価格（税抜）

- EX-TREND 武蔵 Ver.19（Bセット） ￥850,000～
- TREND-POINT Ver.6.1（標準セット） ￥1,000,000～

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 営業部営業推進課

Tel：0776-67-8860 福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6

ホームページ：<https://const.fukuicompu.co.jp/>